長島文芸

明神俳句会

夕立去り島の教会光り立つ　淵脇　護
雨止んで蝉わき上がる古墳群　大堂　早苗
島の児の朝の挨拶青田風　筑前　初市
鉦踊はじまる夕立過ぎてより　二階堂妙子
夕立の過ぎて葉先の水光る　関　佳代美
水遣ればうなづく花や朝曇り　迫口　君代
二階より眺めておりし青田波　山嵜加代子

長島短歌会

落ちる日のひととき止まり照らしゐる麻酔さめゆく娘の枕元　岩下　ち江
三三五五人も車も帰りくるマンションの影生垣の道　岩下　房代
飽食の時知らずして逝きし母米とぐ我の脳裏に深し　樫平　頼子
大潮の沙に立ちて些かな繁雑農業薄らぎゆけり　米尾　和子
黄ばみたる小さき文字を拾い読む終戦間際の父母らの葉書　坂ノ下典子
窓下ののうぜんかずらは惜しみなく花を散らせて掃くにおよばず　中山タマエ
久びさに漁火二つ連なりて廻り明るし烏賊を釣る船　浜田美代子
南風わたる入江の波にふくらみて日輪の如き月のぼりくる　浜畑　松枝
庭先にハイビスカスの花落ちていにしえ人の巻文の如し　林　ヒロ
庭裏の納骨堂にわが拝む墓石は海の反映を負ふ　本田　幸子
紫陽花に光る雨滴をみつめつつ亡夫を顕たせてつきあひてをり　松元　睦子
行人岳参りて帰る道すがら師の歌碑に立ちわが歌想ふ　町田キクエ
雨降れば若き日思ふ蓑笠に裸足で植へしよひと日棚田に　市尾　操

一般作品

俳句

帳おりドボルザークで座待月　笹元　政美
ミルク入れ話途切るるアイステー　桐野　眞実

短歌

遠くより聞へて来る歌懐かしい振りかえ思い小学時代　町田　末則
夏空に夕立あれよと畦に立ち今年の実り秋を待ちつつ　中仮屋辰子

町立図書館おすすめBOOK

新刊紹介

図書館に置いてある最新本の中から
おすすめのものをピックアップ。
バラエティーに富んだ
新刊を紹介します。

町立指江図書館 / 電話 0996-88-6500

「アルツハイマー」から おかえりなさい
荒井　和子　著

夫がアルツハイマーになり夫婦に危機が訪れます。老いと病の受け止め方、夫婦のあり方など、胸に迫る手記です。

町立鷹巣図書館 / 電話 0996-86-1111

ドンと鳴った花火だ
國房　魁　著

自然と笑顔になれる写真集です。子どもたちの表情たまらなくいいのです。「歌いたくなる」という副題のとおり、実際に歌ってしまいます。